



LIXIL

シャッター付 ウイング枠

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※シャッター本体の脱落や変形による作動不良・雨漏りの原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。

・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認してください。

※下記項目は、本体の前倒れにより障子が脱落する原因になりますのでお守りください。

- ・柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
- ・窓台は平に取付け、取付け後、前倒れがない事を確認してください。
- ・間柱は本体下枠の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。
- ・下枠と躯体との間にすき間のないよう固定してください。
- ・窓台と補強ブラケットとの間にすき間のないよう固定してください。
- ・取付けねじは必ず締付け、固定してください。

※下記項目は、漏水の原因になるおそれがありますのでお守りください。

- ・本製品取付け後、サッシ枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部およびサッシ枠の角部が完全に隠れるように防水テープ(別売り)を張ってください。(本文中の図参照)
- ・外壁施工後、躯体と本体の取合わせ部には必ずシーリングしてください。
- ・外壁は95mm以下に仕上げてください。

■取付け上のおお願い

●枠にはしごをかけたり、のったりしないでください。キズ・変形の原因になります。

●組立てた製品を運搬する際、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。

●テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠けなどの原因になります。

●テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。

●立て掛ける際、補強ブラケットを下にして寝かさなないでください。補強ブラケットが変形するおそれがあります。

●内窓の取付けについては、内窓に同梱の取付け説明書を確認してください。

●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

●補強ブラケット固定用ねじは、締過ぎないでください。

●本製品のうち、サッシ枠の組立ておよび取付けは、一般サッシを施工される方が行ってください。サッシの組立て・取付けは、シャッター(電動)の施工範囲には含まれません。

●シャッター取付け部の開口寸法は、正確に出してください。

(H寸法)寸法が正確に出ていないとシャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。(a図参照)

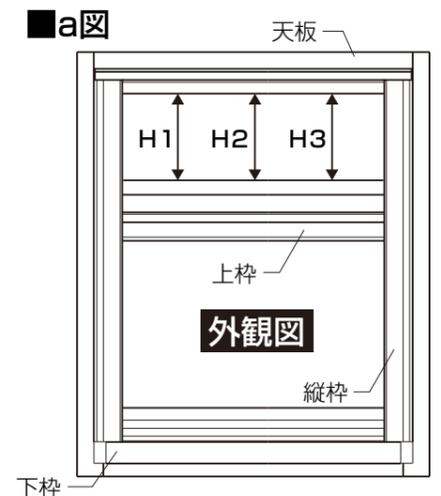
●サッシ枠の水平・垂直を正確に出してください。特に下枠の上下のソリがないようにしてください。

取付け精度が悪いとシャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。

●モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないよう指導してください。

●モルタルはくり剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。

●シャッター部材の取付けについては本体同梱の取付け説明書をご覧ください。



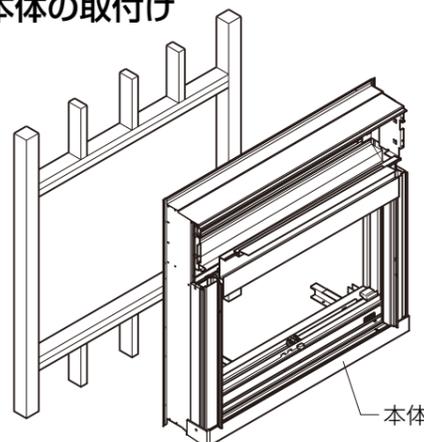
■ねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

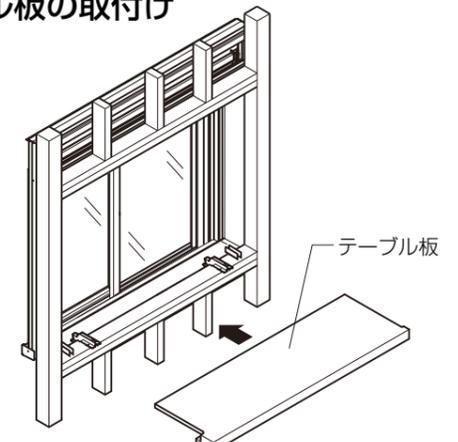
記号	㊦	㊧	㊨
名称	ナベタッピンねじ φ4×30	丸木ねじ φ4.1×63	皿タッピンねじ φ4×35
姿図			
使用箇所	下枠位置決め金具 補強ブラケット	補強ブラケット	本体

■取付け順序

- 1 開口部の確認
- 2 本体の取付け



- 3 障子・ガラスの建込み、建付け調整
- 4 テーブル板の取付け



■取付け詳細

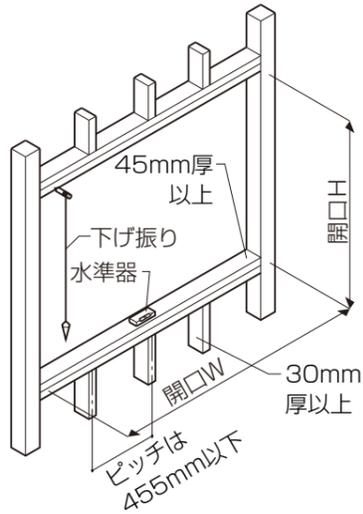
※図中の記号はねじ一覧表の記号を示します。
間違いのないように使用してください。

1 開口部の確認

●水平・垂直を確認します。

▲注意

- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
- 窓台は平に取付け、取付け後、前倒れがないことを確認してください。
- 間柱は、本体下枠の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。

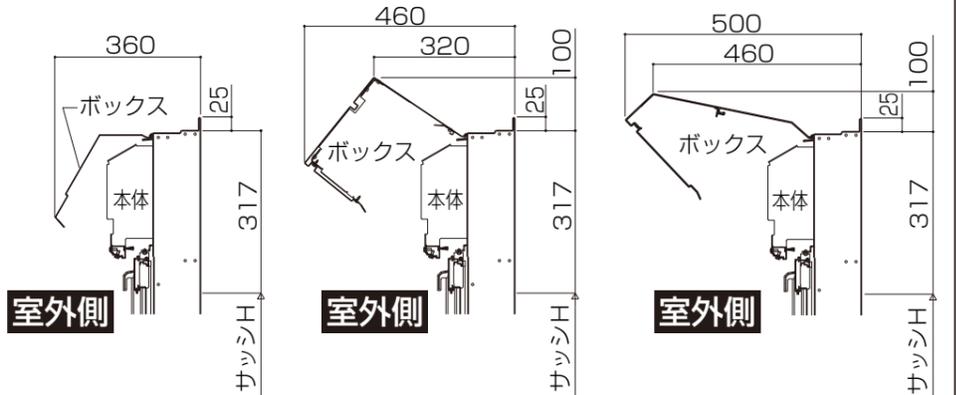


●シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。

■S型ボックス

■D型ボックス

■H型ボックス



2 本体の取付け

●本体を開口部へ差込み、位置決め金具、補強ブラケット、縦枠、本体固定金具、天板、上枠、下枠の順で躯体に固定します。
※天板・上枠・縦枠の固定は水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認し、縦枠にたおれのある場合は、かい物などで調整してください。

▲注意

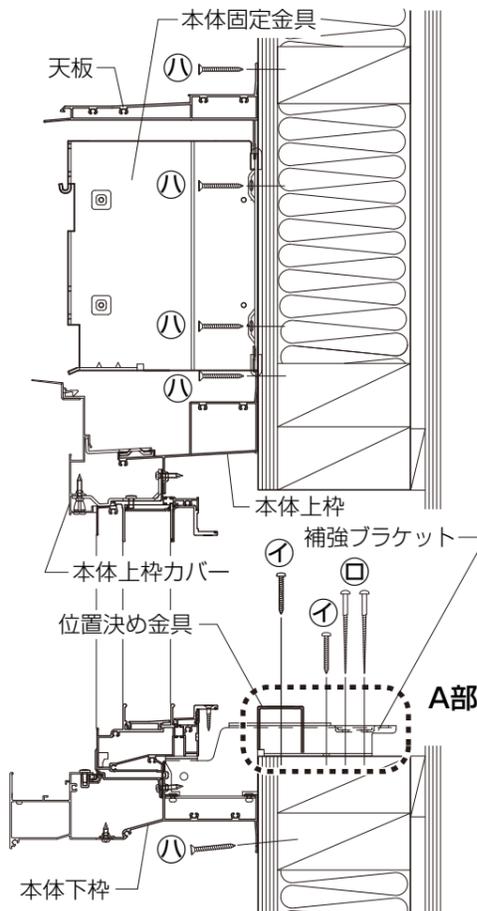
●取付けねじは必ず締付けてください。

※躯体と下枠の間にすき間が発生した場合は、必ずかい物などで調整してください。

※下枠の固定は水準器などで水平を確認し、上下にソリのある場合は、かい物などで調整してください。シャッターの作動不良の原因となります。

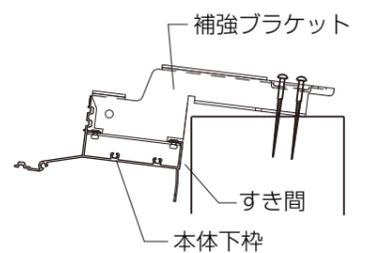
▲注意

●本製品取付け後、サッシ枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部およびサッシ枠の角部が完全に隠れるように防水テープ(別売り)を張ってください。



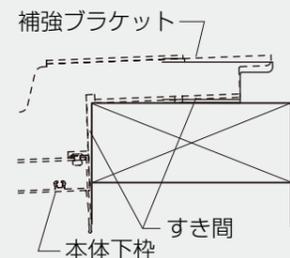
■A部詳細図

※補強ブラケット固定用ねじを締過ぎると、本体下枠と躯体の間にすき間が生じますので、締過ぎないでください。



▲注意

- 本体下枠と躯体のすき間がないよう押込んでからねじ止めしてください。
- 窓台と補強ブラケットとの間にすき間のないよう固定してください。



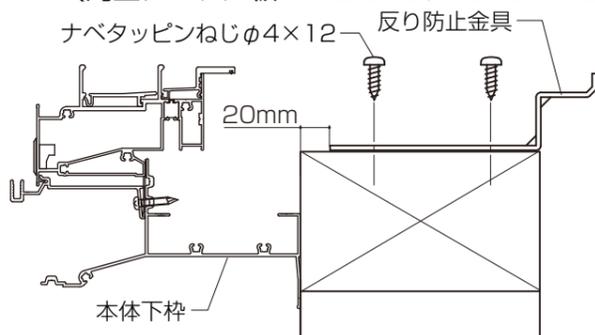
3 障子・ガラスの建込み、建付け調整

※内窓に同梱の取付け説明書を参考にして建込み、建付け調整します。

4 テーブル板の取付け (角型テーブル板: W ≤ 870、1370 < W ≤ 2239のみ)

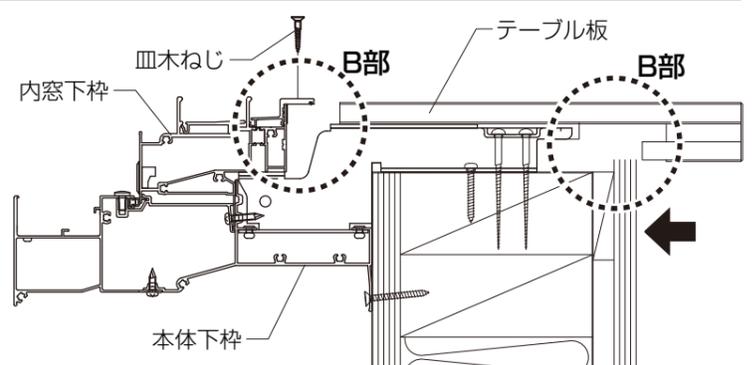
① テーブル板に同梱の反り防止金具を窓台へねじ止めします。

※ねじはテーブル板に同梱の固定用ねじを使用します。

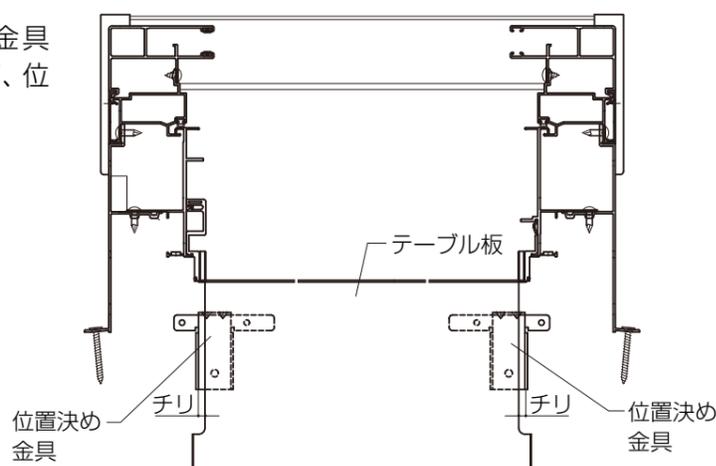


② 内窓下枠フィンと補強ブラケットの間にテーブル板を差込んでねじ止めします。

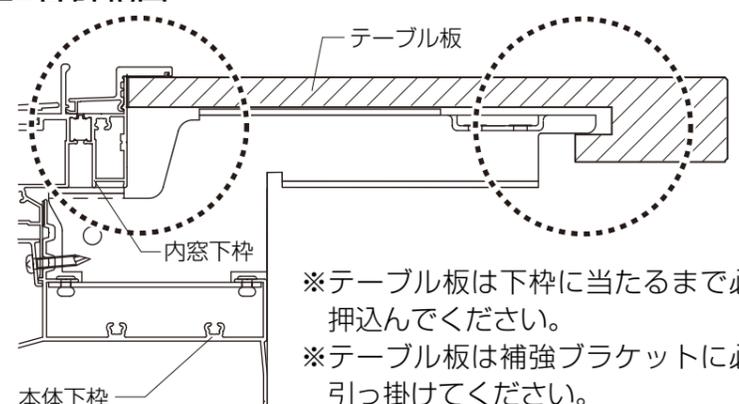
※ねじは内窓に同梱のアンクル固定用ねじを使用します。



※左右方向は位置決め金具とのチリを均等にして、位置決めします。



■B部詳細図



※テーブル板は下枠に当たるまで必ず押込んでください。
※テーブル板は補強ブラケットに必ず引っ掛けてください。